

2021年度 学校法人イエス団甲子園二葉幼稚園自己評価シート

1 甲子園二葉幼稚園の教育目標

1. キリストの精神に基づき、私たち一人ひとりはかけがえのない存在であることを伝える。
2. 自律を教育の目標とし、自分を信じ、人を愛する心を育む。

2 本年度に定めた重点的に取り組む学校評価の具体的な目標

- ・子どもを見る目を養う。
- ・研修の充実。
- ・インクルーシブ保育の充実。
- ・組織運営体制の確立。
- ・施設整備計画の検討。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果
子どもを見る目を養う	子どもを見る目、遊びを見る目を養うために日々の記録を充実させることにも注力した。形式については検討中。クラスでの実践事例を共有することにより他の保育者の考えを知り、学びを深めることができた。一人ひとりのスキルアップについては今後も取り組んでいく。
研修の充実	講師を招き「遊び」については橋本祐子氏、「環境」については井上寿氏、岩城俊之氏、「エコロジカルな視点(SDGs)を保育に」については小西貴士氏—、それぞれの研修をオンラインや対面で継続的に行うことができた。
インクルーシブ保育の充実	異年齢保育を開始して2年が過ぎた。どのクラスにも発達に課題のある子どもが2～3人在籍している。各クラス、様々な年齢、様々な課題を持った子どもたちが一緒に生活することによって助け合ったり、互いの良い刺激になったり、より豊かな成長を感じる一年であった。
組織運営体制の確立	主任会、職員会議、リーダー会を機能させ、組織的な運営に注力した。その中で教職員間のコミュニケーションの大切さを実感した。また職務分掌については、整理、検討している。
施設整備計画の検討	新築移転(1995年)から27年を迎えている。大規模修繕のうち外壁塗装(2019年)などは済ませ、また4年前に増築した新園舎(2017年)も活用している。既存園舎の内装工事、トイレのリニューアル、園庭改造(遊具を含めた)等課題はまだ多くある。

4 2021年度学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

園の保育の見える化を心がけ、ようちえんネットを活用しながら、コロナ禍にあっても保護者とのコミュニケーションを取ることを中心においた。その集大成として感動的な運動会を行うことができたと考えている。今後も子どもたちの最善の利益のためにできることを考え続けながら、チーム一丸となって子ども中心の保育に取り組みたい。

5 今後取り組むべき課題

課題	具合的な取り組み状況
子どもを見る目、遊びを見る目を養う	・子どもの発達を踏まえた遊びを中心におき、子どもの姿をしっかりと捉え、遊びの充実を図るよう、事例検討等を通して保育力を磨いていく。
研修の充実	・園内研修の充実及び外部研修の活用など研修体制の再構築を図る。 ・外部講師を依頼し、研修の充実を図る。
インクルーシブ保育の充実	・異年齢クラス編成の中で、違いを認め合い、共に育ち合う仲間として、すべての子どもたちの成長を願う。
組織運営体制の確立	・教職員体制の課題が明確化された中で、組織の中での個々の役割や課題を再認識する。 ・勤務時間管理を含め、教職員の就業における課題を再確認する。
施設整備計画の検討	・園庭については、リスクマネージメントの視点を持ち、園児にとって安心して安全な環境を提供していくことができるよう十分な話し合いを持って検討する。 ・既存園舎の内部改装及びトイレ改修、エレベーター、厨房について長期的な計画を立て、検討する。

6 学校関係者の評価

監事監査会及び評議委員会に対し報告を行ったが、特に指摘すべき事項はなく適正との評価を得た。

7 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

8 情報の公開

法人のホームページ及び自園のホームページに掲載。アドレス…<https://futaba-kjesusband.jp/>

2022年5月12日理事会にて報告